群馬県立中央中等教育学校 学校評価一覧表① (平成31年度(令和元年度)版)

(様式1)

(様式1)

2020/3/11

羅針盤			方策			7月実施 第1回点検・評価			12月実施 第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目	方策			自己評価 (前期/後期)	外部アンケート等 (前期/後期)	改善策	自己評価 (前期/後期)	外部アンケート等 (前期/後期)	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 豊かな人間性、想像力を育成する教育活動を行っていますか。	①自ら積極的にあいさつをしていると自己評価している生徒が90%以上である。	①教師から積極的なあいさつに心がけ、継続的なあいさつ運動を展開し、家庭・地域でも同様にあいさつができるようにする。 ②教師が共に清掃に取り組みながら、生徒の美化意識を育む指導を行い、学校外でも実践できるようにする。 ③良好な学習環境や人間関係を整える。	①現在の取組を継続しつつ、「心を開いて相手にせまる」という挨拶の持つ力や意味を理解し、より多くの教師が生徒に声かけできるように、あらゆる場面で行う。 ②保護者による評価が低い、PTA行事や刊行物を通して、家庭と協力して環境整備を実践できる地球市民養成の必要性を訴えたい。 ③現在の取組を継続しつつ、朝の奉仕活動等を通して生活(学習)環境を整備し、「環境が人を変える」ので生徒が自身の可能性を広げることができる環境を整備していく。	B	A/A	「全ての基本は挨拶から」心を開いて相手にせまる」という挨拶の持つ力や意味を理解し、より多くの教師が生徒に声かけできるように、あらゆる場面で行う。				
		②意欲的に清掃活動に取り組んでいると自己評価している生徒が85%以上である。						④英語に関する各科目の授業を英語で行うだけでなく、英語を用いる機会や場面を多く設ける。 ⑤関連行事の工夫・改善に努め、生徒の意欲や関心を高める。	B/B	B/C	相変わらず保護者評価が低い。自己評価も低下した。寒い時期の対策も必要か。生徒会環境委員会の活性化で美化行動の向上を図りたい。
		③自分の学校が好きだと感じている生徒が85%以上である。									
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 国際的なコミュニケーション能力を育成する教育活動を行っていますか。	④英語や外国文化に興味を持っている生徒が90%以上である。	⑥学校行事、各教科等で、我が国や世界の国々の文化や伝統に対する理解を深める学習を行う。 ⑦テストの結果分析を通して生徒の理解度を計り、理解度に応じた指導を行う。 ⑧30人学級に加えて、英語や数学で少人数指導を行い、個に応じた指導を行う。 ⑨前期課程では個に応じた学習指導を、後期課程では個に応じた進路指導を、それぞれ充実させ生徒の進路目標を明確化させる。 ⑩学習時間調査等の結果分析を有効活用し、指導に役立てる。	A	A/A	現在の取組を継続すると共に、日本及び世界の文化・伝統と関連させた内容が各教科どの程度取り上げられているかをFEWC人材育成ループブック等で確認していく。					
		⑤全ての生徒が、学校行事や授業等で我が国や世界の国々の文化・伝統に触れる経験をしている。					⑩前期課程では個に応じた学習指導を、後期課程では個に応じた進路指導を、それぞれ充実させ生徒の進路目標を明確化させる。 ⑪学習時間調査等の結果分析を有効活用し、指導に役立てる。	A	A/A	各教科で定期考査問題、課題内容等を検討し、授業アンケートの結果も踏まえ、一人一人の生徒の理解度を正しく把握し、個々の指導にフィードバックして改善に努める。	
		⑥日本や世界の文化・伝統を大切に教育活動を行っていますか。									⑪年度当初に授業改善に係る研究テーマを設定し、研究テーマに沿った全体研修を年2回以上実施する。 ⑫授業改善の一環として、研究授業・授業参観を制度化する。
III 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 日本や世界の文化・伝統を大切に教育活動を行っていますか。	⑦授業内容を理解できていると感じている生徒が80%以上である。	⑬教師からの声掛けや面談により、生徒と触れ合う機会を多く持つ。 ⑭日頃からクラス内で協働する機会を増やす。 ⑮「保健だより」や保健委員会活動による啓発活動を活性化し、S・Cによる相談活動も活用し心の健康についても十分に配慮する。 ⑯部活動や委員会活動に取り組んでいる生徒が75%以上である。 ⑰いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、全職員で全生徒の言動に注視し、「すべては生徒の成長(健全育成)のために」適切なタイミングで叱咤激励を行う。 現在の取組を継続しつつ、互いの価値観を認め合い、互いに高め合える集団を目指していく。					
		⑧少人数指導に満足している生徒が85%以上である。					⑯部活動や委員会活動に取り組んでいる生徒が75%以上である。 ⑰いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	A	A/A	一人ひとりの生徒が興味・関心をもち、自ら主体的に取り組む課題の課し方について、授業改善と関連させて全教科・学年で検討する。	
		⑨学習動機が明確な生徒が85%以上である。									⑰定期的な実施するいじめアンケート、部教員にS・Cを加えた定期的な会議内容、関係職員による生徒観察、面談、保護者からの情報等により、いじめの実態を迅速かつ正確に把握し、いじめ対策委員会を中心に、被害生徒・加害生徒の関係改善のために尽力し、いじめを解消する。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	4 基礎・基本の確実な理解を図る指導を徹底していますか。	⑩家庭学習の習慣が身に付いている生徒が80%以上である。	⑮<前期課程>心理テスト等で自己理解を促すとともに、学級活動で進路意識向上を図る指導を行う。 ⑯<後期課程>積極的にデータを活用した進路指導を実践する。 ⑰<後期課程>二者面談や個別指導を充実させ、生徒への支援を充実させる。 ⑱三者面談の実施や保護者会により、情報の共有を図る。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、全職員で全生徒の言動に注視し、「すべては生徒の成長(健全育成)のために」適切なタイミングで叱咤激励を行う。 現在の取組を継続しつつ、互いの価値観を認め合い、互いに高め合える集団を目指していく。					
		⑪すべての教師が、「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。					⑰定期的な実施するいじめアンケート、部教員にS・Cを加えた定期的な会議内容、関係職員による生徒観察、面談、保護者からの情報等により、いじめの実態を迅速かつ正確に把握し、いじめ対策委員会を中心に、被害生徒・加害生徒の関係改善のために尽力し、いじめを解消する。	A	A/A	4年生から4年生にかけての部活動加入のスムーズな展開と4年次以降の部活動継続の声掛けを徹底するなど、現状の取組を維持する。	
		⑫すべての教師が研究授業を行い、授業参観を年2回以上実施している。									⑱三者面談の実施や保護者会により、情報の共有を図る。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	5 生徒の学習意欲を喚起する指導が充実していますか。	⑪すべての教師が、「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。	⑲<前期課程>自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が70%以上である。 ⑳<後期課程>自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が80%以上である。 ㉑<後期課程のみ>進学意思が明確な生徒が90%以上である。 ㉒子どもの進路希望を理解している保護者が85%以上である。	A	A/A	「主体的・対話的で深い学び」によって自己を理解し、協働学習によって自己有用感を向上させる指導を行う。 探究的な諸活動を通じて、自分自身が将来その解決に取り組みたいと考える社会的課題を設定する指導を行う。 課題解決に向けて、蓄積した学力を得意力に、さらに合格力に転化させ、第一志望校への現役合格を実現する指導を行う。 生徒・保護者がともに参加する進路講演会を実施し、家庭におけるキャリア観の構築を促す。					
		⑫教師は主体的に授業改善に努めていますか。					⑲<後期課程のみ>進学意思が明確な生徒が90%以上である。 ㉒子どもの進路希望を理解している保護者が85%以上である。	A	A/A	<基礎期>生徒一人ひとりが興味・関心を抱くテーマを自己認識し、自らの学習意欲を向上させる支援を行う。 <充実期>生徒一人ひとりが自己の適性を認識し、将来の目標となりうる職業を意識する支援を行う。 <発展期>文理選択や科目選択をふまえ、生徒一人ひとりが自己の学習計画を立案・実行する支援を行う。	
		⑬基礎・基本の確実な理解を図る指導を徹底していますか。									⑳三者面談の実施や保護者会により、情報の共有を図る。
VI 生徒の安全確保を図っていますか。	6 教師は主体的に授業改善に努めていますか。	⑬すべての教師が、「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。	㉓<前期課程>心理テスト等で自己理解を促すとともに、学級活動で進路意識向上を図る指導を行う。 ㉔<後期課程>積極的にデータを活用した進路指導を実践する。 ㉕<後期課程>二者面談や個別指導を充実させ、生徒への支援を充実させる。 ㉖三者面談の実施や保護者会により、情報の共有を図る。	A	A/A	「主体的・対話的で深い学び」によって自己を理解し、協働学習によって自己有用感を向上させる指導を行う。 探究的な諸活動を通じて、自分自身が将来その解決に取り組みたいと考える社会的課題を設定する指導を行う。 課題解決に向けて、蓄積した学力を得意力に、さらに合格力に転化させ、第一志望校への現役合格を実現する指導を行う。 生徒・保護者がともに参加する進路講演会を実施し、家庭におけるキャリア観の構築を促す。					
		⑭家庭学習の習慣が身に付いている生徒が80%以上である。					㉓<前期課程>心理テスト等で自己理解を促すとともに、学級活動で進路意識向上を図る指導を行う。 ㉔<後期課程>積極的にデータを活用した進路指導を実践する。 ㉕<後期課程>二者面談や個別指導を充実させ、生徒への支援を充実させる。 ㉖三者面談の実施や保護者会により、情報の共有を図る。	A	A/A	年間計画に従って3月に実施される全校の保護者を対象とするPTA進路学習会において、進路情報を提供する。	
		⑮学習動機が明確な生徒が85%以上である。									㉗学校行事として計画的に開催する。 ㉘PTA・学年行事や学年通信、一斉メールによる情報発信、三者面談による情報共有を積極的に図る。 ㉙生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。
VII 生徒の安全確保を図っていますか。	7 生徒が良好な人間関係を築けるよう組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑯自分の健康について意識している生徒が80%以上である。	㉚学校からの進路情報提供に満足している生徒・保護者が80%以上である。 ㉛進路講演会や進路関連行事を各学年、年2回以上開催する。 ㉜学校の最新情報をタイムリーに掲載し、更新回数を増やす。 ㉝学校説明会や公開授業、授業参観をそれぞれ年1回以上実施する。	A	A/A	文理選択・科目選択をはじめ、二者面談・三者面談における各生徒に対する個別指導を充実させる。 年間行事計画にしがたい、各学年段階によって適切な内容の進路講演会・進路学習会を実施する。					
		⑰部活動や委員会活動に取り組んでいる生徒が75%以上である。					㉚学校からの進路情報提供に満足している生徒・保護者が80%以上である。 ㉛進路講演会や進路関連行事を各学年、年2回以上開催する。 ㉜学校の最新情報をタイムリーに掲載し、更新回数を増やす。 ㉝学校説明会や公開授業、授業参観をそれぞれ年1回以上実施する。	A	A/A	Webページの更新回数を維持し、画像等を活用し、学校の行事や授業の様子等をタイムリーに情報発信し、情報を得ようとする側のニーズに応えられるWebページにする。	
		⑱すべての教師が研究授業を行い、授業参観を年2回以上実施している。									㉞PTA・学年行事や学年通信、一斉メールによる情報発信、三者面談による情報共有を積極的に図る。 ㉟生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。
VIII 生徒の安全確保を図っていますか。	8 生徒は健康で健康的な学生生活を送っていますか。	⑰自分の健康について意識している生徒が80%以上である。	㉞PTA・学年行事や学年通信、一斉メールによる情報発信、三者面談による情報共有を積極的に図る。 ㉟生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。	A	A/A	恒例行事として定着した感のある地域美化活動を引き続き実施するとともに、活動の実実を周知するように引き続き努める。					
		⑱すべての教師が「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。					㉞PTA・学年行事や学年通信、一斉メールによる情報発信、三者面談による情報共有を積極的に図る。 ㉟生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。	A	A/A	一斉メールの運用を適切に行うこと等により、保護者にとって有意義な情報が各部署から適切なタイミングで発信されるように努力する。	
		⑳すべての教師が「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。									㉟生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。
IX 生徒の安全確保を図っていますか。	9 各学年の特性に応じた計画的な進路指導を行っていますか。	⑲自分の健康について意識している生徒が80%以上である。	㉟生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、「交通安全は命に関わること」を念頭に、交通指導を通してより生徒が実感できる内容にしてい。					
		⑳すべての教師が「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。					㉟生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。	A	A/A	不審者侵入時の安全確保対応にやや課題が残った。来年度に向けて再検討し、改善を図りたい。	
		㉑子どもの進路希望を理解している保護者が85%以上である。									㉟生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。